

3. 里 浦 町

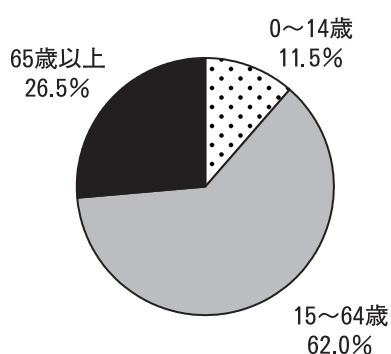
3-1 現 状

〈人 口〉

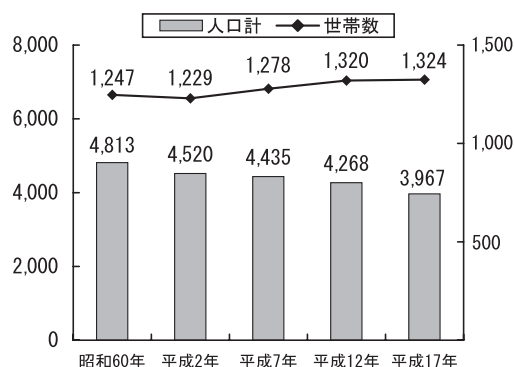
里浦町のうち、比較的人口規模のあった里浦地区では昭和45年頃をピークに人口が減少していますが、粟津地区では、横ばいからやや減少しています。この地域の人口は全体として緩やかに減少しており、老年人口が25%を超えるなど、少子高齢傾向が見られます。

人 口	4,076 人	世 帯 数	1,482 世帯
世帯あたりの人数	2.8 人/世帯		
年 齢 別 人 口	年少 (0~14歳)	467 人	11.5 %
	生産年齢 (15~64歳)	2,527 人	62.0 %
	老年 (65歳以上)	1,082 人	26.5 %

※世帯数・人口：平成22年3月末現在住民基本台帳登録人口



年齢別人口割合 (平成22年3月末住民基本台帳)



人口と世帯数の推移 (国勢調査)

〈土地利用・市街地整備・都市施設・公共交通〉

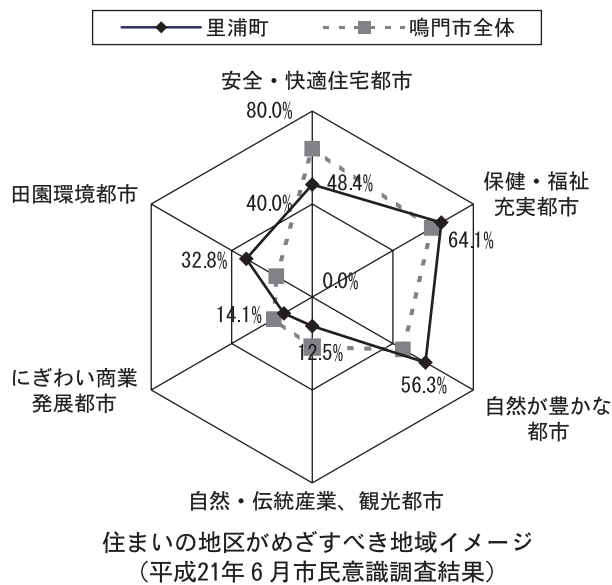
- この地区は、市の最東部に位置し、紀伊水道に面した砂地畑に青果用かんしょ、大根の二毛作を中心とする優良な農地が広がっています。
- 南部の粟津地区は、粟津漁港を中心に漁村型の集落を、また、粟津港は対岸の松茂町と合わせ徳島県北部の工業・流通拠点を形成しています。
- 地区の北西部は、撫養町川東地区と隣接しているため生活利便性が高く、妙見山公園や鳴門・大塚スポーツパーク、中心市街地に近い地区に住宅を中心とした市街地が広がっています。
- 工業地は、大塚製薬、ナンカイテクノートなどの製造業が立地しています。南部には工業・流通拠点として粟津港があり、神例造船が立地しています。
- 北部の岡崎海岸には国民宿舎や保養所、リゾートマンションなどが立地しており、宅地開発の動きも見られます。地域の北東端の「いわし山」周辺は、瀬戸内海国立公園に指定されています。
- 粟津から中心市街地に向かう地域バスが運行されています。

〈その他〉

- 粟津港から大手海岸、岡崎海岸に至る海辺沿いにサイクリングロード (鳴門徳島自転車道) があります。
- 農地と集落は南北に細長い樹林によって区分されており、かつての防風林として松並木が残されています。

3-2 課題

- ①里浦連絡所周辺は、住宅が密集しており、災害に強い良好な住宅地の形成のため、計画的な市街地整備が必要です。
- ②地区の東部は、生産性の高い農用地であり、市街地の無秩序な拡大を抑制しつつ、生産性の向上を図り、都市近郊型農業地帯として整備していく必要があります。
- ③都市計画道路岡崎里浦線は、地区内の幹線道路として整備が進められていますが、なお未整備区間を残しています。
- ④この地区は低い土地に集落が形成されており、東南海・南海地震発生の際は、津波の被害が予測されることから、災害対策が求められています。



地区懇談会での主な意見

- ・都市計画道路の整備について
- ・用途地域の見直しについて
- ・農業・漁業を振興するまちづくりについて
- ・里浦処分場の今後の方針について
- ・地区の災害対策について

平成21年度実施地区懇談会

3-3 地域づくりの基本目標

以上をふまえて、地域づくりの基本目標を

- かんしょを中心とした生産性の高い農業を振興するまち
- 工業、農業、漁業と住宅が調和した快適な住環境のまち
- 海辺の環境や農の景観を守り地震などの災害に強いまち

とします。

3-4 基本構想

(1)まちづくりの拠点

①水の拠点

岡崎海岸は、土佐泊から大鳴門橋、淡路島までが一望できる景観的にも優れた要素を持ち合わせており、水辺の景観を活かした観光リゾート地としての利用を検討します。

②工業・流通拠点

粟津港は、県北部の工業・流通の拠点となっていることから、必要な施設整備を要請します。

(2) まちづくりの軸

① 地域軸

都市計画道路岡崎里浦線は地区内の幹線道路として、引き続き整備促進を図ります。

② スポーツ・レクリエーション軸

岡崎海岸から大手海岸を通り栗津港に至る県道鳴門徳島自転車道は、スポーツ・レクリエーションの軸として、海辺の環境を活かした健康づくりの場として活用を推進します。

3-5 土地利用の方針

① 住居専用ゾーン

住宅と農地の混在した土地利用となっていますが、今後も比較的低密度で良好な住宅地としての土地の有効利用を図ります。

② 一般住居ゾーン

里浦連絡所周辺など一部の住宅密集地については、建て替え時のセットバックによる細街路の拡幅、ポケットパークの整備などにより、地区の特性に応じた良好な市街地整備を推進します。

③ 工業ゾーン

撫養町川東地区から連続する工業地域は機能性を維持するとともに、地区内道路の整備など利便性の向上を図ります。また、一部で住宅系土地利用との混在が見られることから、土地利用動向をふまえ、既存住宅の建て替え等に合わせて適切な土地利用を図ります。

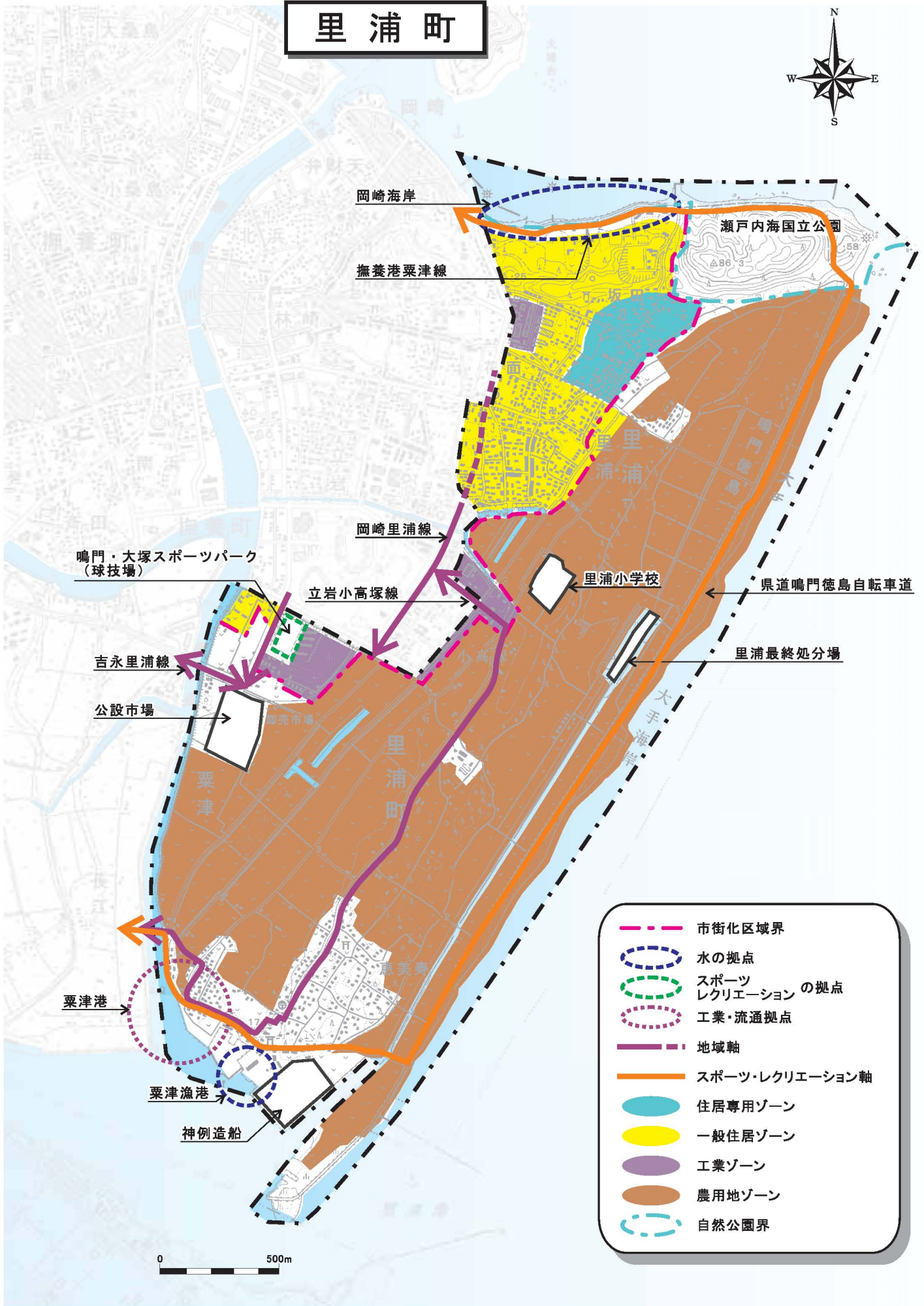
④ 農用地ゾーン

かんしょ、だいこんの集団産地であり、今後も農用地としてより一層の生産性向上を図るため、必要な基盤整備を推進します。農用地周辺の集落地については、環境との調和を図りながら、今後も農業者の生活の場としての機能が十分に維持されるよう集落のコミュニティの維持を図ります。

3-6 防災・生活環境その他特記事項

- 広大な農地が広がり、その中に点在する集落、かつての防風林であった松林など里浦にしかない農の景観の保全と活用を推進します。
- 里浦最終処分場については、地域の住民の意向をふまえ、跡地の有効利用を検討します。
- 鳴門市汚水処理構想に基づき、公共下水道（汚水）の整備を推進します。

里浦町



- - - 市街化区域界
- () 水の拠点
- () スポーツレクリエーションの拠点
- () 工業・流通拠点
- 地域軸
- スポーツ・レクリエーション軸
- () 住居専用ゾーン
- () 一般住居ゾーン
- () 工業ゾーン
- () 農用地ゾーン
- () 自然公園界

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平22業複、第228号）